

広告

■石狩市の取り組み→4・5ページも併せてご覧ください

「子どもの貧困」などは「家庭の問題」ではなく「社会の問題」として捉え、子どもの育ちを第一義的に考える必要があります。石狩市にはここで紹介する民間・団体などをはじめ、市民力を生かすことのできる素地がありますので、官民が連携した子どもの総合支援につなげていければと思います。

子ども政策課課長
伊藤 学志



▲「マナビーバ」の講師たち。全員が北海道教育大学札幌校の1年生で、その一人、太田竜誠さんは「子どもとしっかり最後まで向き合い、少しでも彼らの役に立てたら」と意気込みを語ってくれました。

ひとり親家庭を対象とする学習支援活動

「マナビーバ」



こども未来館「あいぼーと」(花川北7・1)

そこで5月から始めたのが、特に高校受験を控える中学3年生を対象とする「マナビーバ」という学習支援です。

現役の大学生が講師になり、こども未来館「あいぼーと」で18時45分から2時間ほど、教科書中心の基礎学習や勉強のコツを教えるというものです。もちろん指導料は無料。また1食250円で、希望者には18時から一緒に夕ご飯を食べる時間も設けています。

事業はまだ始まつばかりで、手さぐり状態ですが、最初の一歩が踏み出せたので、今後は中学生や大学生、保護者の方、この事業を支えてくれるボランティアの皆さんと相談しながら、子どもたちのため、地域のためにコツコツと長く続けたいと願っています。

もしも気になる方がいましたら、隨時受け付けていますので、気軽な気持ちでお電話ください。事業に賛同いただける地域の方のご協力も心よりお待ちしています。

問合せ NPO法人こども・コムステーション・いしかり

いしかり

☎ 64-5640

NPO法人こども・コムステーション・いしかり

日々、児童館の運営



NPO法人こども・
コムステーション・いしかり
伊藤 美由紀さん